

■ W3C と WHATWG



WHATWG

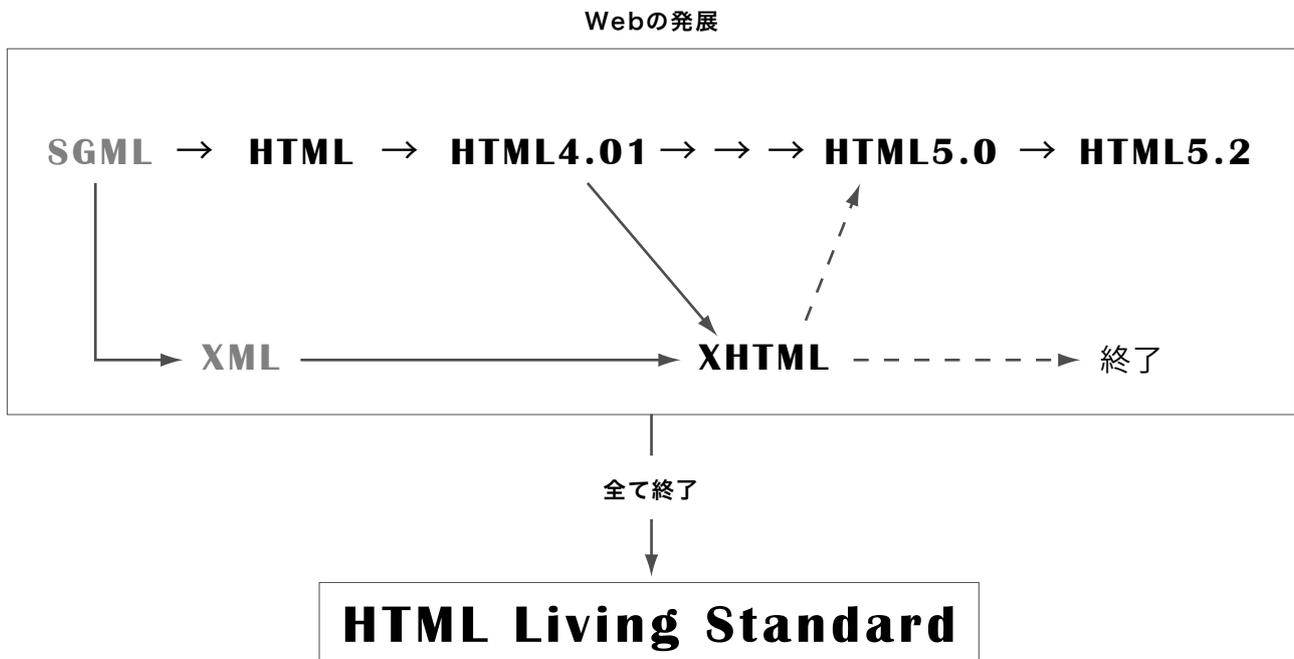
World Wide Web Consortium の設立

CERN で開発された各種技術が標準化されたことにより、すぐにWWWサーバとPC用ブラウザが誕生しました。1990年からインターネットは爆発的に世界中で広まり、1992年に日本で初めてのプロバイダ・サービスがスタートしています。ティム・バーナーズ・リー氏は CERN での仕事を終了した後に、膨大に蓄積された資料をまとめながらグローバル・ハイパーテキストというプロジェクトを提案しました。そして1994年にMITコンピュータ科学研究所内にて html を管理する組織である World Wide Web Consortium(W3C)を設立し、学生たちとともに次世代のWeb技術を研究し始めました。

1989年	CERNにてティム・バーナーズ・リー氏がHTMLを開発
1993年	初のブラウザ Mosaic が登場し、HTMLのバージョン・アップが発表 → HTML 1.0 / HTML+
1995年	すべてをW3Cが管理することに決定され、バージョンが上がった → HTML 2.0
1996年	初の Cascading Style Sheets, level 1 がリリースされたが普及しなかった
1997年	バージョン・アップ → HTML 3.0 / HTML 3.2
1998年	Cascading Style Sheets, level 2 がリリースされた
1999年	バージョン・アップ → HTML 4.0 / HTML 4.01
2000年	XMLをHTMLと合体させた XHTML が登場した
2001年	XHTML バージョン・アップ → XHTML 1.1
2004年	WHATWG (Web Hypertext Application Technology Working Group)が設立された
2014年	XHTMLは2009年で凍結され、今後は HTML5.0 へ移行することが発表された
2016年	HTML5.0 バージョン・アップ → HTML5.1
2017年	HTML5.1 バージョン・アップ → HTML5.2
2019年	W3Cは撤退 / HTML標準仕様の管理は WHATWG に移行 / 新しい仕様の開発に着手
2021年	HTML Living Standard がスタートした

HTML の管理は W3C から WHATWG へ

2021年にHTMLの標準仕様を管理する団体が W3C から WHATWG(Web Hypertext Application Technology Working Group)に移りました。「WHATWG」とは、アメリカの Apple(アップル) / モジラ・ファウンデーション(Mozilla Foundation) / ノルウェーのOpera Software(オペラソフトウェア)の三社が集まって2004年に設立された団体で「W3C の方針が適切であり信頼できるかどうか」を監視する監査役として活動してきました。W3C が XHTML を推進した当時の状況を振り返り「実際のニーズを明らかに無視していた」と判断し、最終的にHTMLの標準仕様は WHATWG が開発することに決定されました。2014年から使ってきた HTML5 というバージョンは廃止され、HTML Living Standard という新しい標準仕様がスタートしています。



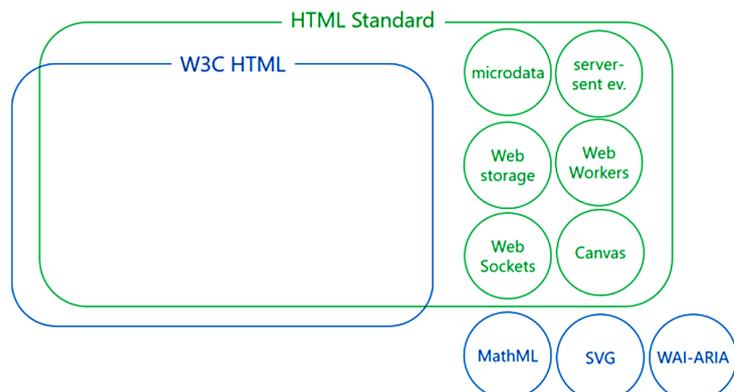
DTD の宣言

HTMLのファイルはそのバージョンごとに使用できる Tag と Attribute, さらにそれらの配置方法が厳密に定義されています。ファイルの冒頭に DTD(Document Type Definition:文書型の定義)を記述することで、どのバージョンのHTMLファイルなのかをブラウザが自動的に判別して結果を表示します。例えば HTML 4.01 (Transitional)のDTD宣言の場合は次のソースになります。

```
<!doctype html public "-//w3c//dtd html 4.01 transitional//en" "http://www.w3.org/tr/html4/loose.dtd">
```

DTDを宣言するためのソースは多くの種類があり、どれを記述するべきかがとても分かりにくいと言われています。そこで(最近のブラウザを使用することを前提として) HTML5 の DTD であった `<!doctype html>` をいつも記述することをおすすめいたします。

```
<!doctype html>
<html>
<head>
<meta charset="utf-8">
<title>タイトル</title>
</head>
<body>
<p>html5の宣言方法です</p>
</body>
</html>
```





HTML 1.0

DTDは無し

HTML 2.0

```
<!doctype html public "-//ietf//dtd html//en">  
または <!doctype html public "-//ietf//dtd html 2.0//en">
```

HTML 2.1

```
<!doctype html public "-//ietf//dtd html i18n//en">
```

HTML 3.0

```
<!doctype html public "-//w3c//dtd html 3.0//en">
```

HTML 3.2

```
<!doctype html public "-//w3c//dtd html 3.2 final//en">
```

HTML 4.01 Transitional

```
<!doctype html public "-//w3c//dtd html 4.01 transitional//en"  
"http://www.w3.org/tr/html4/loose.dtd">
```

HTML 4.01 Strict

```
<!doctype html public "-//w3c//dtd html 4.01//en"  
"http://www.w3.org/tr/html4/strict.dtd">  
<html lang="ja">
```

HTML 4.01 Frameset

```
<!doctype html public "-//w3c//dtd html 4.01 frameset//en"  
"http://www.w3.org/tr/html4/frameset.dtd">  
<html lang="ja">
```

XHTML 1.0 Transitional

```
<!doctype html public "-//w3c//dtd xhtml 1.0 transitional//en"  
"http://www.w3.org/tr/xhtml1/dtd/xhtml1-transitional.dtd">  
または <html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
```

XHTML 1.0 Strict

```
<!doctype html public "-//w3c//dtd xhtml 1.0 strict//en"  
"http://www.w3.org/tr/xhtml1/dtd/xhtml1-strict.dtd">  
または <html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">ct.dtd">
```

XHTML 1.0 Frameset

```
<!doctype html public "-//w3c//dtd xhtml 1.0 frameset//en"  
"http://www.w3.org/tr/xhtml1/dtd/xhtml1-frameset.dtd">  
または <html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
```